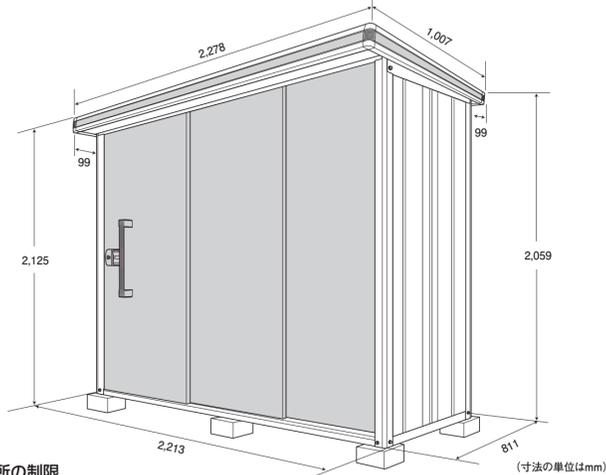


ヨド物置 エルモ

組立説明書 LMD-2208型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



●設置場所の制限

- △注意**
- 建物の屋上には設置しないでください。
 - バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
 - 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
 - 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
 - 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

- △注意**
- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
 - 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
 - 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
 - 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
 - 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
 - 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

機種	2208型
部品	LM5-0141
上枠前後(一般・積雪共用型)	LM5-0205
上枠前後(豪雪型)	LM5-0209
下枠前後	LM5-0255
上枠左右(一般・積雪共用型)	LM5-0301
上枠左右(豪雪型)	LM5-0310
下枠左右	LM5-0351
柱	LM5-0416
鼻隠し	LM5-1105
床	LM5-0703
屋根	LM5-0903
壁	LM5-1001
袖壁	LM5-1004
壁	LM5-1705
棚板	LM5-1901
合計	一般・積雪共用型 14 豪雪型 14

●梱包内容表

部品名	数量	部品名	数量
●部品 LM5-0141		●上枠前後 LM5-0205	
ELD 簡易固定金具	2	ELD 上枠前 AS-A3.0	1
床板(2x19cm×118cm)	5 (1)	ELD 上枠後 AS.0	1
ELD 柱補強金具(AS)	1	●部品 LM5-0209	
ELD フレールキャップ	1	ELD 上枠前 AS-A3.0	1
T型レンチ	1	ELD 上枠後 AS.0	1
ELD アンカープレート(L)	4	ELD 上枠補強 AS-A3.0	1
ELD 屋根押戻し A	2	●部品 LM5-0255	
ELD 屋根押戻し B	1	ELD 下枠前 AS-A3.0	1
EL 銀孔ワザ	1	ELD 下枠後 A3.0	1
ボルト M6×15 (白)	121 (5)	ELD 床押え A3.0	2
組立説明書	1	●部品 LM5-0301	
保証書 5年	1	ELD 上枠左 A1.0	1
		ELD 上枠右 A1.0 (左)	1
		ELD 下枠前 A1.0 (右)	1
		●部品 LM5-0310	
		ELD 上枠左 A1.0	1
		ELD 上枠右 A1.0 (右)	1
		●部品 LM5-0351	
		ELD 下枠前 A1.0 (左)	1
		ELD 下枠後 A1.0 (右)	1
		●部品 LM5-0416	
		ELD 柱前 AS-右 L	1
		ELD 柱前 AS-左 L	1
		ELD 柱後 L	2
		ELD 戸当り (M) L	1
		ELD 簡易脚立	1
		ELD 簡易脚立前 A3.0	1
		ELD 簡易脚立後 A3.0	1
		●部品 LM5-0703	
		ELD 床板 A1.0	6
		●部品 LM5-0903	
		ELD 屋根 (70) A1.0	3
		●部品 LM5-1001	
		ELD 壁パネル L-A	1
		●部品 LM5-1004	
		ELD 壁パネル L-A	4
		●部品 LM5-1705	
		ELD 屋根 L-A	1
		ELD 屋根 L-A	1
		●部品 LM5-1901	
		ELD 棚板 A1.0N	2
		ELD 棚板 N 右	2
		ELD 棚板 N 左	2

○部材名称にはA1.0、A3.0等の長さを示す記号がつけられた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
■は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

- ・コンクリートブロック 6ヶ(幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
- ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)***※土の上に設置する場合には必要です。**
- ・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上)4本***※コンクリート床の上に設置する場合には必要です。**

●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・ドライバー(右側開口にする場合のみ必要)

●使用ビス一覧



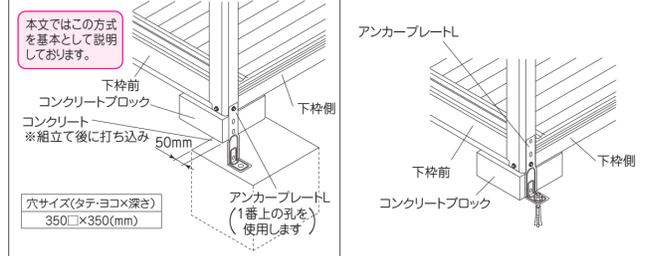
●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

△注意 内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。

《土の上に設置する場合》

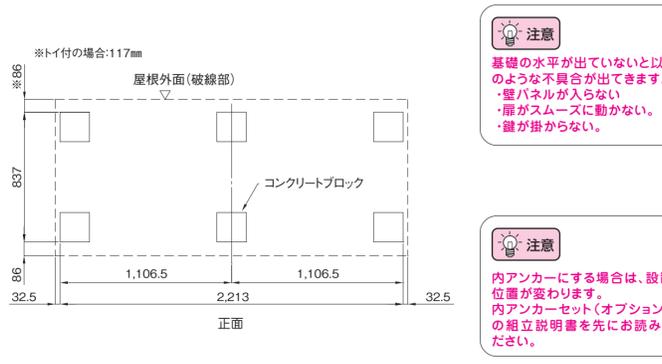
4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート(L)を固定します。



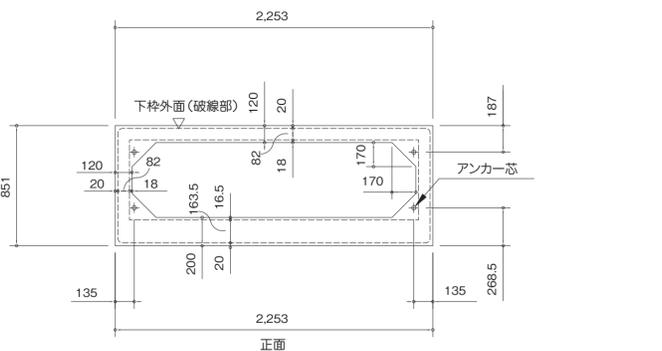
△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

- ①設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)

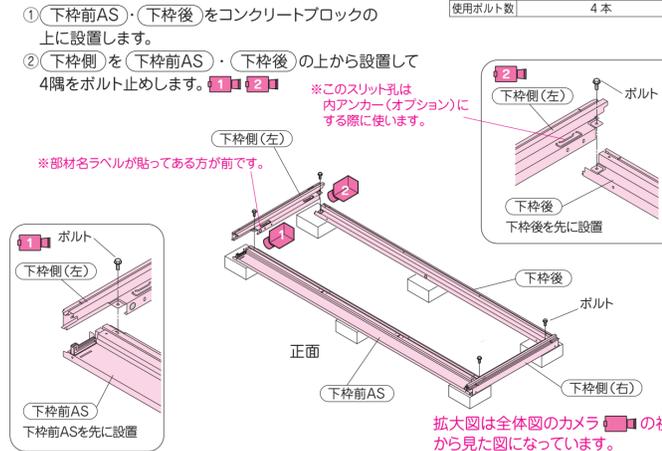


《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)

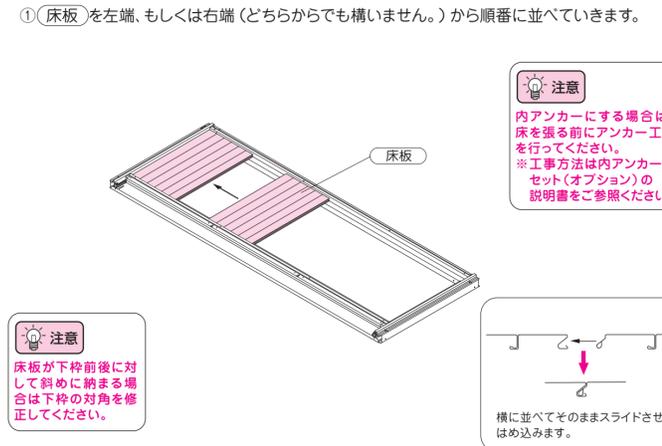


△注意 布基礎にする場合は内アンカーセット(オプション 梱包番号: LM5-6741)が別途必要です。

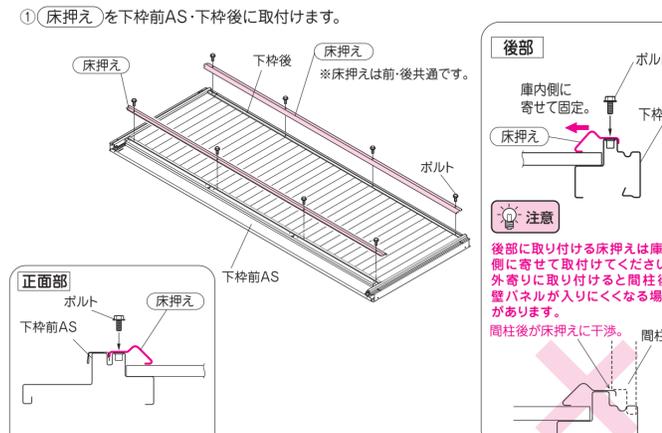
2 下枠の組立



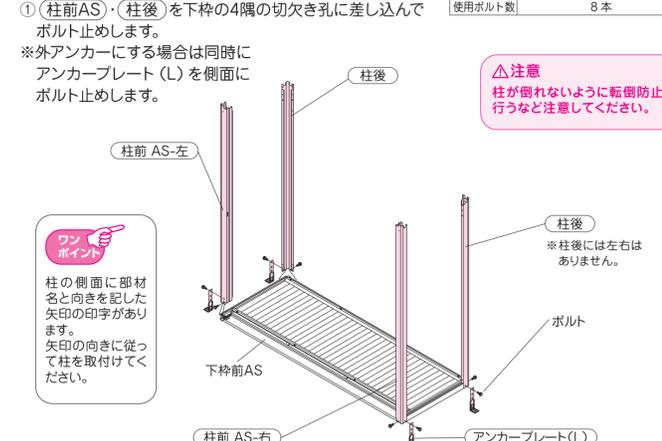
3 床の設置



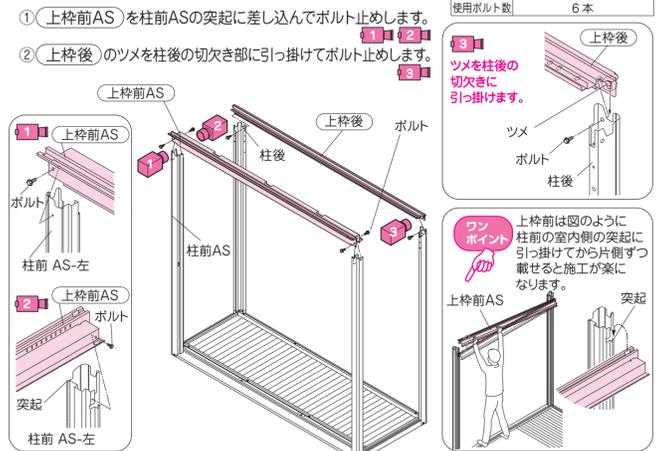
4 床押えの取付け



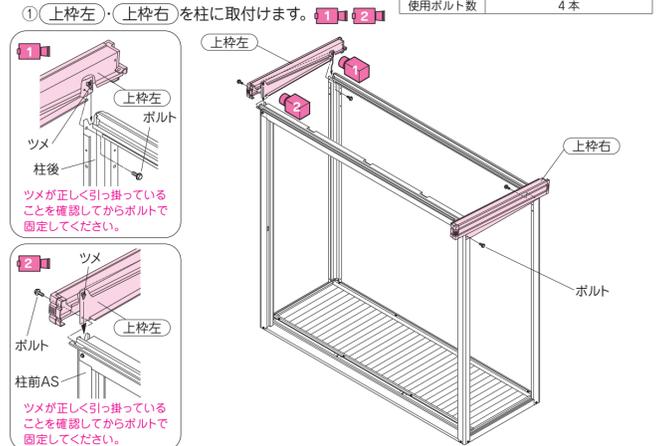
5 柱の取付け



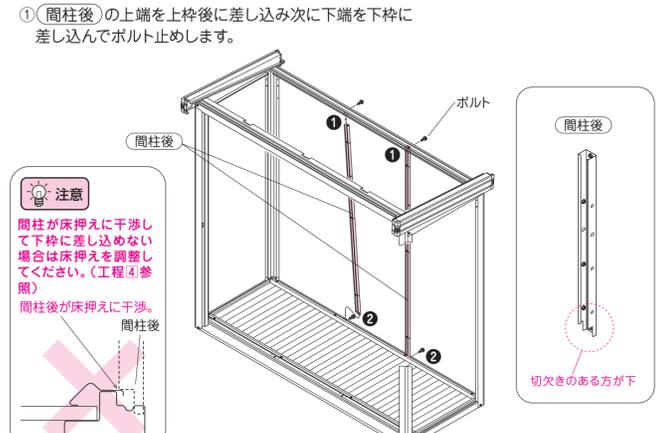
6 上枠前後の取付け



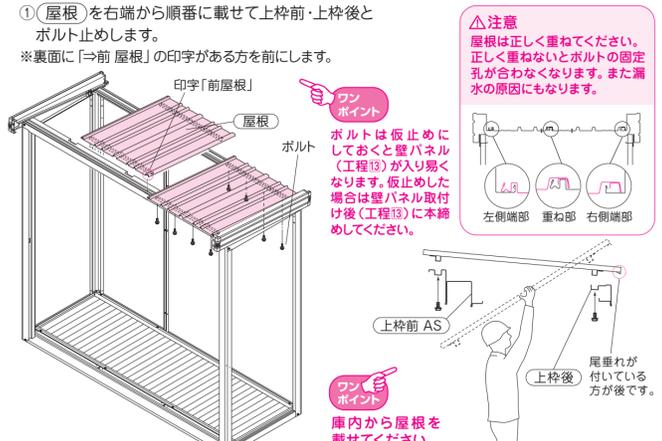
7 上枠左右の取付け



8 間柱後の取付け



9 屋根の取付け

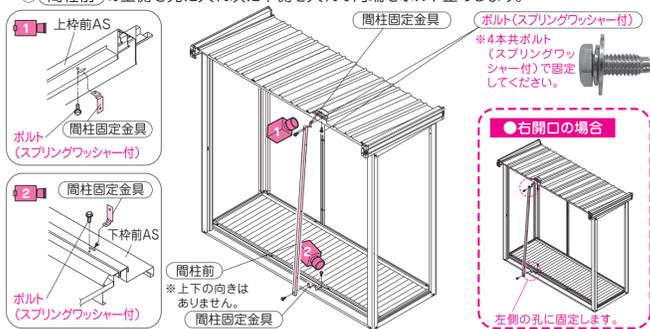


10 間柱前の取付け

使用梱包	LM5-0416
使用ボルト数	5本

注意 工場で出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書10.11.14.16.17.19を読んでください。

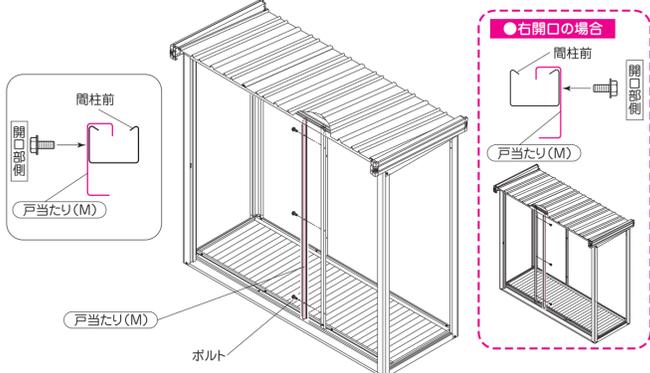
- 間柱固定金具を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。1 2
- 間柱前の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。



11 戸当たりの取付け

使用梱包	LM5-0416
使用ボルト数	3本

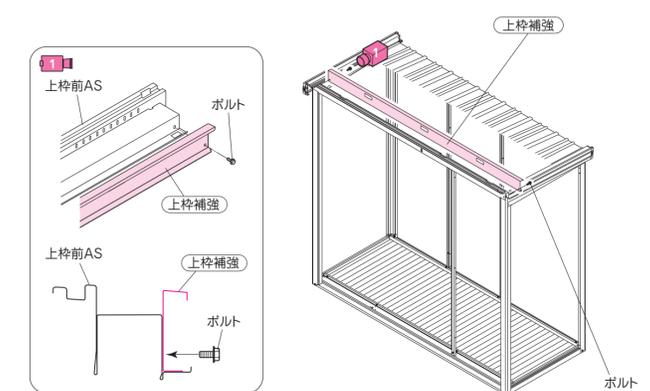
- 戸当たり(M)を間柱前に仮止めします。※扉吊り込み後に扉に干渉しないよう前後調整して固定してください。-工程17参照



12 上枠補強の取付け(豪雪型のみ)

使用梱包	LM5-0141
使用ボルト数	2本

- 上枠前と柱を固定しているボルトを外します。
- 上枠補強を上枠前ASにボルトで固定します。1

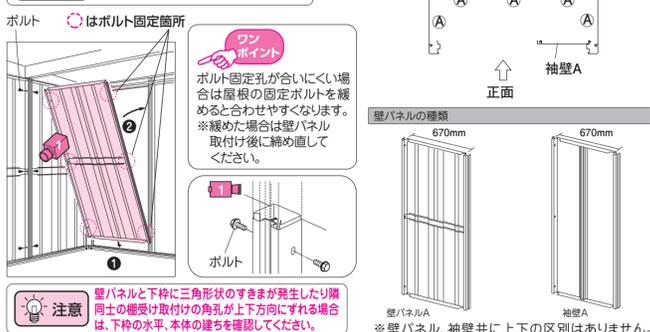


13 壁パネル・袖壁の取付け

使用梱包	LM5-1001
使用ボルト数	36本

- 室内から壁パネル(袖壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
- 柱・間柱にボルト止めします。1 (開口部側の壁は柱補強金具と一緒に固定します。-工程14参照)

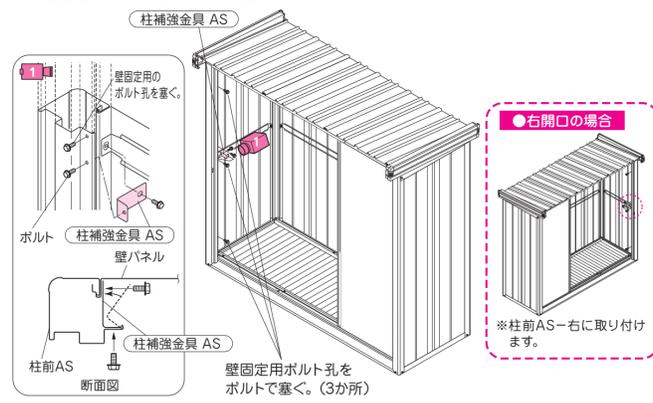
注意 ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。



14 柱補強金具の取付け

使用梱包	LM5-0141
使用ボルト数	5本

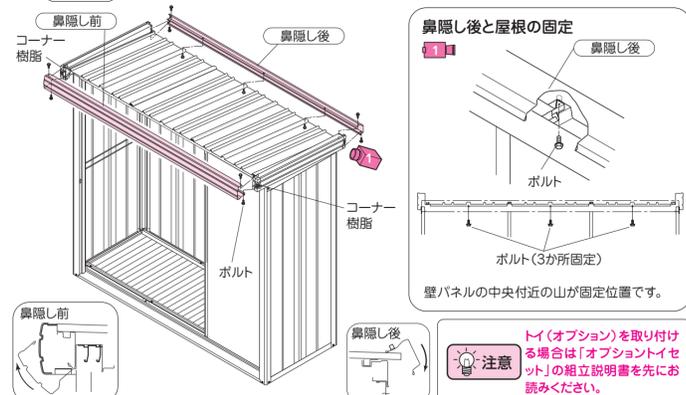
- 柱補強金具ASを柱前AS-左(右側開口の場合は柱前AS-右)にボルト止めします。1
- 壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。



15 鼻隠しの取付け

使用梱包	LM5-1105
使用ボルト数	11本

- 鼻隠し前・鼻隠し後を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
- 鼻隠し後と屋根をボルト止めします。1

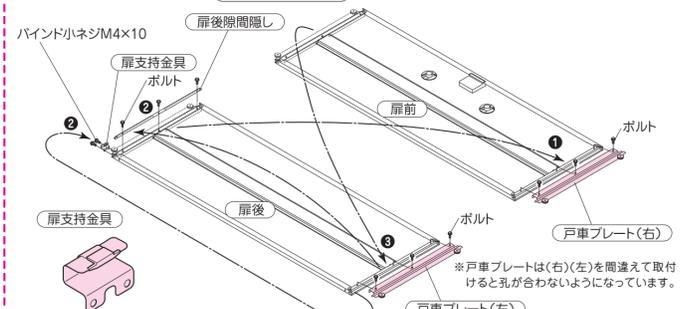


16 扉吊元変更(右開口に変更する場合のみ)

使用梱包	LM5-1705
使用ボルト数	0本

注意 右開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。左開口の場合はこの工程は必要ありません。

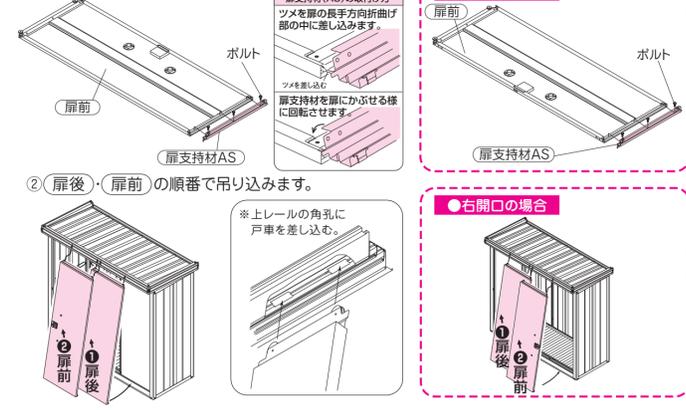
- 扉後から(戸車プレート(右))を取り外し扉前の戸車プレートが付いている方に取付けます。
- 扉後の(扉後隙間隠し)扉支持金具を取り外して扉後の反対側に取付けます。
- 扉前の最初に付いていた(戸車プレート(左))を取り外して扉後に取付けます。



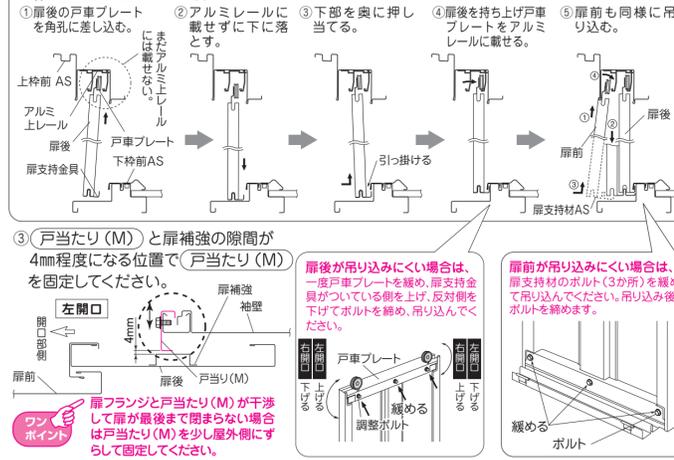
17 扉の吊り込み

使用梱包	LM5-1705
使用ボルト数	3本

- 扉支持材ASを(扉前)に取付けます。
- 扉後・扉前の順番で吊り込みます。



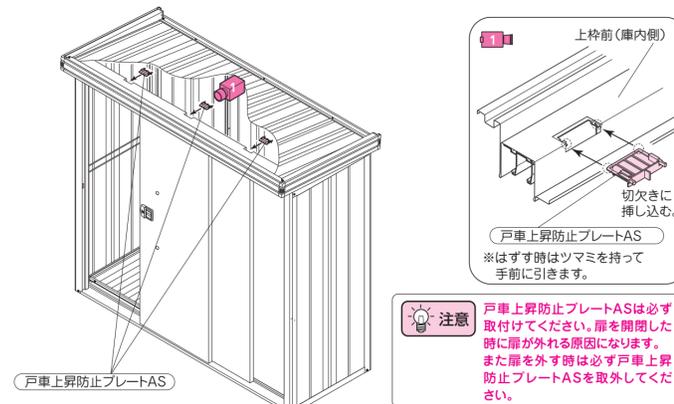
扉の吊り込み手順



18 戸車上昇防止プレートの取付け

使用梱包	LM5-1705
使用ボルト数	0本

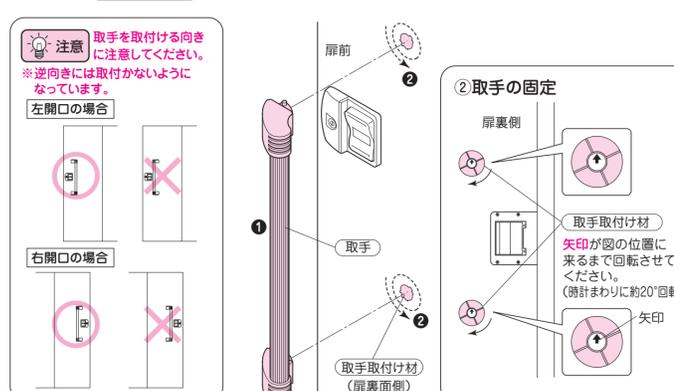
- 戸車上昇防止プレートASを上枠前ASに取付けます。(3か所) 1



19 取手の取付け

使用梱包	LM5-1705
使用ボルト数	0本

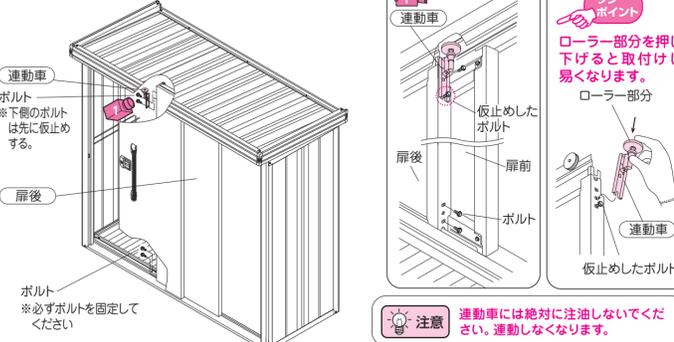
- (取手)を扉前の取付け穴に差し込みます。※向きがありますので注意してください。
- 扉裏の(取手取付け材)を回して取手を固定します。



20 連動車の取付け

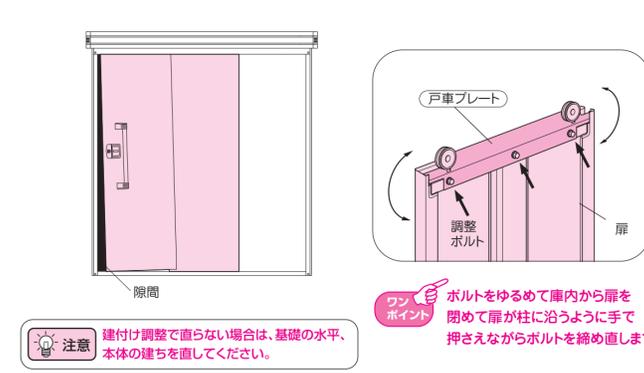
使用梱包	LM5-1705
使用ボルト数	4本

- 扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。(ネジ部を5mm程度残してください)
- (連動車)のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めたボルトに引っ掛けます。
- (連動車)をボルトで固定します。(仮止めたボルトも締め込んでください。)
- 扉後下部のボルト孔を塞ぎます。



21 扉の建付け調整

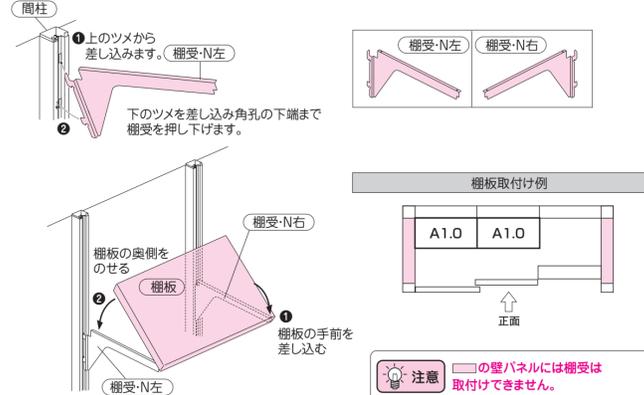
- 扉を開けて柱と扉との隙間を確認します。隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。



22 棚板の取付け

使用梱包	LM5-1901
使用ボルト数	0本

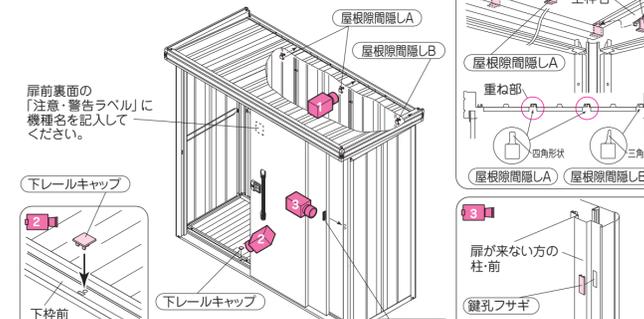
- (棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- (棚板)を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A1.0が2枚付いています。)



23 その他部品の取付け

使用梱包	LM5-0141
使用ボルト数	0本

- 扉裏面の注意・警告ラベルに機種名を記入します。
- (屋根隙間隠しA)を上枠後の屋根の重ね部に(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。1
- (下レールキャップ)を下枠前に取付けます。2
- (鍵孔フサギ)を袖壁側の柱前に取付けます。3



●錠操作方法について 取扱説明書「錠操作方法について」を必ずご参照ください。

組立てチェック

- 組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。
- 扉の建て付け調整ができていないかご確認ください。
 - 鍵が正常に作動するかご確認ください。
 - 戸車上昇防止プレートASが取りついているかご確認ください。
 - 棚板の配置確認をしてください。
 - 機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)
 - ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

こんな時は

- 扉が外れてしまった。戸車上昇防止プレートAS、連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。(工程17.18.20)
- 扉がスムーズに連動しない。連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
- 取手が外れる。取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程19)
- 扉が最後まで閉まらない。戸当たり(M)を調整してください。(工程17)

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
 施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡ください。
 (2028) 3D30 淀川製鋼 (2025年A制作)